わたしの
行こう! 飛ぼう! 関空!

関西国際空港全体構想促進協議会

当協議会は、関西の自治体や経済界等オール関西で構成された団体で、国等に対する要望活動のほか、関西国際空港の利用促進・利便性向上に関する事業に取り組んでいます。

■設　　立　1998年7月28日

2023年7月1日時点

■役　　員

会　　長	(公社)関西経済連合会会長	松本　正義
副 会 長	大阪府知事	吉村　洋文
	兵庫県知事	齋藤　元彦
	和歌山県知事	岸本　周平
	大阪市長	横山　英幸
	堺市長	永藤　英機
	神戸市長	久元　喜造
	大阪商工会議所会頭	鳥井　信吾
特別参与	関西エアポート(株)代表取締役社長CEO	山谷　佳之
参　　与	新関西国際空港(株)代表取締役社長 関西国際空港土地保有(株)代表取締役社長	保田　亨

■構成団体 87団体

福井県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
奈良県	和歌山県	徳島県	京都市	大阪市	堺市
神戸市	(公社)関西経済連合会	大阪商工会議所	(一社)関西経済同友会	福井商工会議所	津商工会議所
大津商工会議所	京都商工会議所	神戸商工会議所	奈良商工会議所	和歌山商工会議所	徳島商工会議所
福井県議会	三重県議会	滋賀県議会	京都府議会	大阪府議会	兵庫県議会
奈良県議会	和歌山県議会	徳島県議会	京都市会	大阪市会	堺市議会
神戸市会	高石市	泉大津市	和泉市	忠岡町	岸和田市
貝塚市	熊取町	泉佐野市	田尻町	泉南市	阪南市
岬町	尼崎市	明石市	西宮市	芦屋市	洲本市
淡路市	南あわじ市	和歌山市	海南市	岩出市	紀の川市
(一社)滋賀経済産業協会	(一社)京都経済同友会	(公社)京都工業会			
(一社)京都経営者協会	(一社)神戸経済同友会	(公社)兵庫工業会			
兵庫県経営者協会	奈良経済同友会	(一社)奈良経済産業協会			
(一社)和歌山経済同友会	和歌山県経営者協会	堺商工会議所			
高石商工会議所	和泉商工会議所	泉大津商工会議所			
岸和田商工会議所	貝塚商工会議所	泉佐野商工会議所			
尼崎商工会議所	西宮商工会議所	(一社)日本経済団体連合会			
日本商工会議所	(公社)経済同友会	(一財)関西空港調査会			
関西エアポート(株)	新関西国際空港(株)	関西国際空港土地保有(株)			

■位置図

■参加団体 約160団体(促進協の趣旨に賛同し、協力をする団体)

事務局　大阪府 政策企画部 成長戦略局 空港政策グループ
〒540-8570　大阪市中央区大手前2丁目1番22号
TEL(06)6944-6549　FAX.(06)6944-6842
E-mail:kuko@gbox.pref.osaka.lg.jp

促進協ホームページ https://www.fly-kix.jp/

促進協

メールマガジン「KIXは、いま」登録者募集中!

2023

国際拠点空港としてのさらなる発展をめざして

―関西国際空港―

関西国際空港全体構想促進協議会

関西国際空港の施設概要

1期島

■面積：約510ha
■開港日：1994年9月4日
■主な施設
第1滑走路(3,500m×60m)、駐機場 (67スポット)、
第1ターミナルビル、貨物取扱施設、空港駅等

2期島

■面積：約545ha
■供用開始日：2007年8月2日
■主な施設
第2滑走路(4,000m×60m)、駐機場 (27スポット)、
第2ターミナルビル、貨物取扱施設、駐車場等

関西国際空港の強み

優れた空港機能

- 長距離滑走路2本を有する完全24時間運用空港
- 余裕のある発着処理能力
- 機能性が高く洗練されたデザインの第1ターミナルビル
- LCC専用の第2ターミナルビル

利便性の高い就航ネットワーク

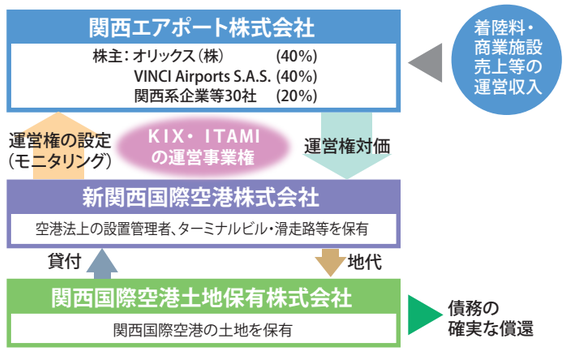
- 世界25カ国・地域、91都市を結ぶ航空路線
- 東京圏に比べ、アジアに約1時間近い
- 日本のほぼ中央に位置し、便利な内際乗り継ぎ機能

空港アクセスの充実

- 鉄道、リムジンバス、高速船など多様な空港アクセス
- 空港リムジンバス24時間運行

日本初のコンセッションによる複数空港運営

コンセッションスキーム

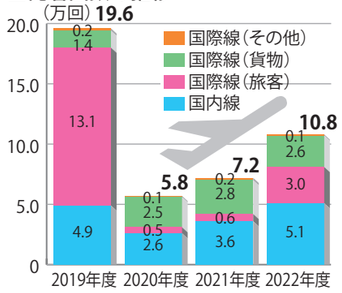


新型コロナウイルス感染症からの回復と機能強化

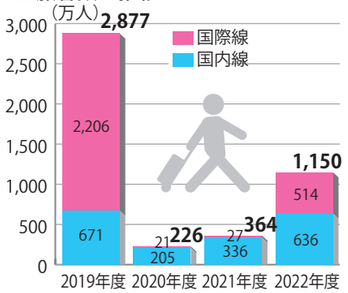
関西国際空港の回復状況

新型コロナウイルス感染症により、多大な影響を受けた関空は、未だ全面的な回復には至っていないものの、2022年10月の水際対策の緩和等もあり、2022年度はコロナ前の2019年度と比較して、発着回数は55%、旅客数は40%まで回復している。

■発着回数の推移



■旅客数の推移



第１ターミナルビルの大規模改修

2025年大阪・関西万博の開催時に、関空が世界の玄関口として、国内外からの来訪者を円滑にお迎えできるよう、第１ターミナルビルの大規模改修に着手しており、2025年春のグランドオープンに向けて、着実に取組みが進められている。

2025年春グランドオープン
主要機能完成
(新国際線保安検査場、新国際線ラウンジ運用開始)

2026年秋
新国際線出発エリア
南北商業施設増設

2023年冬
新国際線出発エリア
(中央)オープン

2022年10月
新国内線エリア
オープン

年間発着回数30万回の実現に向けた取組み

2025年大阪・関西万博と、その先の更なる成長も見据え、年間発着回数30万回の実現を目指す

「公害のない空港」という基本理念を尊重し、必要最小限の範囲での現行飛行経路の見直しに向け、取組みを進めている。

促進協の主な取組み

2020年の
要望活動の様子

国への要望活動

(2023年度の要望項目)

1. **2025年大阪・関西万博とその後の成長を見据えた関空の機能強化等**
2. **円滑かつ快適な受入体制の整備**
3. **国際線旅客需要の早期回復**
4. **関空の脱炭素化の推進**

関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業

1. 航空需要の回復
関空を成長軌道に戻すための航空会社と連携した関空路線のPR事業など

2. 関空の立地効果波及推進
関係自治体等と連携した、関空が立地する経済的効果を地域に取り込む事業など

3. 空港機能の維持に必要な取組
空港内事業者が行う人材確保に向けた取組への支援など